



2021年早春のご挨拶

新型コロナの感染拡大のため、非常事態宣言の延長下にあつて、利用者の方も職員もその家族も緊張した自粛生活を求められています。ただ今後期待するのは、ワクチン接種がすでに始まったこと、春になって気温と湿度が上がってくることです。利用者の方にも職員にもそして自分にも「あともう少し」と励ましています。4月からは新年度に入りますので、その前に法人として事業計画案や予算案をまとめ、3月定期理事会を開催する準備を進めています。

新年度こそは、野外でのイベントを開きたい、講演会や研修会を開きたい、利用者の方の交流会を安心して実施したいと願っています。コロナ感染の対策として、外出が規制されているため、飲食店やアパレル関係、旅行関連の会社などが閉店や倒産に見舞われています。障害者支援の福祉サービス分野でも、特に自主製品やイベント関連や外部作業に影響が出て、工賃支払い会計がマイナスの事業所が多く見られます。新年度の前半期は混乱があつても、後半期は希望を見出せる元気さを取り戻したいと願います。



☆2020年度を振り返って

昨年度の一年間は、新型コロナウイルスの感染対応に日本も世界も、揺れ動いた年でした。そうした中で、法人の歩みを振り返ってみます。
①障害者福祉サービスの分野の会計は、授産会計と福祉会計に分かれます。厚生労働省や地方行政の支援によって、慰労金が支給されたり、コロナ対策の物品の補助があつたりして本当に助かりました。約一か月休業した時も、電話による対応を認めて頂いたことは福祉会計が赤字となることを回避できました。ただ、利用者の方に支払う工賃の授産会計は年間を通じてほぼ毎月赤字が続く事態でした。

②外出の自粛状況の中で、通常は会議が一か所に集まって、開催されていましたが、ズームを活用した会議を取り入れました。長所短所それぞれにあります。千葉市の事業所は感染リスク回避と往復の時間の節約につながるきっかけとなりました。この他にも書面採決を行なったり、延期にした外部講演会もありました。

③事業計画に基づき、1Kタイプのグループホームを柏市逆井地区に増設しました。また、職員の外部研修への機会を呼びかけるとともに、「よつばライブラリー」を開設し、職員の方が本やDVDを通じて自分を育て・利用者支援を学ぶ機会としたいと願っています。本当の充実はこれからです。

④法人よつばの働きを、柏市と隣接市の障害者や家族、そして行政や事業所に知って頂くため、A4サイズ三つ折りのパンフレットを準備しました。また2月には、法人よつばの「理念」を見直すため、各事業ごとにまた個人でも、提案を求めました。理事や評議員の方たちにも協力を求めて、2月いっぱい実施してきました。次回の理事会で、法人理念が決定されます。

さらに、3月には、通所系事業所やグループホームの利用者の方たちに「利用者アンケート」を開始しました。皆さんがどのようなことを願っておられるか、また評価してくださっているかを知るためです。



☆販売・営業の案内

・グループホーム「沼南荘」2~3人タイプと1K一人部屋タイプに空き室があります。
・B型事業所「よつば工房」と「青い鳥」それぞれに、利用者を募集しています。
・A型事業所「かるのこ」
雇用契約を結び、働く職場です。お弁当を作っています。見学も歓迎します。

☆体験談・柏市在住インタビュー Mさん

① 何度も入退院を繰り返して・・・

私は精神薬がうまく効きません。そのため、今でも幻聴が取れません。いやになって、薬を飲まなかった時期もありましたが、そのたびに

入退院を繰り返しました。薬が効かなくとも、止めてしまうとっと具合が悪くなるため、やむなく飲んでいました。家族ともめたり、眠れなかったり、心配事があってストレスがたまると、幻聴がひどくなります。何回入院したかよく覚えていないほどですが、今はお薬カレンダーを使って飲み忘れを減らしています。

② B型事業所に入っていますが・・・

最初は病院のデイケアに通うように先生に勧められましたが、しばらく通っているうちにやめたくなくなってしまいました。ひきこもりにならないように、に、服薬管理のために、訪問看護の方が週一回来てくださるようになりました。家族とは、これまでもめましたので、訪問看護の方が話を聞いてくれます。その勧めで、B型事業所に通うようになりました。しかし、まじめとは言えません。自分でもなぜ、気分のむらがあるのか分かりませんが、職員の方たちは親切なので、何とか続いています。

③ これからの事を考えると不安です

両親も70歳を超えており、これからの事を考えると不安になります。誰と相談すればいいのか、自分の家で暮らせるのか、生活費はどうするのか、入院が必要な時はどうするのか、など不安です。以前職員の方に相談したとき、相談支援専門員や自分たち職員も相談に乗れるので、「一人ぼっちにはなりませんよ」と話してくれましたので、作業所には通い続けること、病院には通院することを続けたいと思います。不安は今もあります。



☆家族の想い・流山市のNさん（インタビュー）

①心配で私もうつに

娘が統合失調症と診断されたのは、大学生の時です。進学先の学校から「娘さんが授業を休んでいます」との連絡を受けて、慌てて様子を見に行きました。娘はすっかり様子が変わり、寝込んでいました。訳の分からない言葉を話しましたので、すぐに精精神的な病気だと気づきました。家に連れて帰り、精精神科を受診しました。大学は休学して、治療を受け始めましたが、あまりの変わりようにショックで私もうつに眠れなくなりました。受診したらうつ病との診断断でした。今では娘が落ち着くのに合わせて、私も随分落ち着きましたが、今も受診はしています。

②娘は復学し、卒業はしたものの

娘は治療によって落ち着き、復学ののち卒業はしましたが、就職がうまくいきませんでした。人間関係にストレスを感じて何度も仕事を代わることになりました。そして、就職はあきらめました。結果、自宅に引きこもったようになりましたが、転機がやってきました。隣の街のクリーニング店で、週2日のパートが見つかりました。店主の方が優しく教えてくださり、お客様が来られた時以外は、割とゆっくり過ごせるため、ストレスがあまりないようです。お給料は少しですが、社会に出られたことが何より有難いことです。このまま続くことを願っています。

④ 娘から学んだこと

私も苦しみました。一番苦しんだのは娘自身です。振り返ってみると、受験勉強していた高校生のころには、病気の兆しがあったように思えます。不安を訴え、イライラし、ボーっとしているときもありました。確かに不安定でした。私は「頑張り」と言っていたように思います。娘は耐えていたんです。私は見落とししました。娘は病気になってからも、卒業や就職に頑張りました。その時も不安だったはず。孤独を感じていたと思います。これからは娘のペースに合わせて、私もそばにいてあげたいと思います。

☆精神障害者家族会よつば会 定例会の紹介 (問い合わせ 04-7199-3645)

<柏部会> <我孫子部会>

- ・当面、コロナの関係で、会場の予約が決定しにくい柏部会と我孫子部会は、非常事態解除までお休みします。

<流山部会>

- ・3月26日金曜 10時から
- ・初石公民館 会議室にて



☆発達障害者家族会「ひまわりの会」

発達障害者の家族会は、開設して2年を過ぎました。毎月の定例会に10名近くの方が集います。2月からは、「当事者会」も始まりました。

- ・ひまわりの会 3月13日午前10時から
 - ・当事者会 3月28日 午後1時から
- 会場については勝本(090-3696-1589)まで、お問い合わせください。